

防災教育

1. 学校の状況および課題

南海中学校区は、南海トラフを震源とする巨大地震が発生した場合、津波が襲来する太平洋沿岸に位置し、また、津波の遡上が予想される新川川が校区の中心を流れている。このような立地にありながら、地域住民の防災意識は必ずしも十分だったとはいえ、東日本大震災が発生した平成23年3月11日には、津波警報が出されているにもかかわらず、生徒を含む多くの人々が海岸に近づいてしまった。また、災害時の「自助・共助」を担うべき自主防災組織の充実も地域の課題となっている。

このような状況において、災害に対する危機意識を持ち、正しい備えをするため、生徒の「防災対応能力」を育成することを目的として24年度から防災教育に取り組み、25年度からは校区津波避難場所マップを作成している。このマップを保小中の保護者、地域住民に配布し、自主防災組織と協働して自宅から直近の避難場所への津波避難訓練を実施し、保護者及び地域住民の防災意識の向上に取り組んできた。

26年度に校舎(中舎)耐震工事が完了し、緊急地震速報機が設置され、津波避難ビルに指定されるなど学校のハード面での危機管理能力が向上した。今後、これらのハード面の充実を活かし、様々な場面を想定した「ショート訓練」や「避難訓練」を実施し、実践的な動きを身に付ける必要がある。また、地震(津波)に対するものだけでなく、火災や落雷、ゲリラ豪雨や河川の氾濫など、様々な災害に対する防災実践力を育成する必要がある。

2. 目標

- (1) 災害に対し、自らの命を守り、安全を確保することができる実践的な行動力を身に付けるとともに、地域の防災活動に主体的に参加する意欲を育てる。
- (2) 災害発生の仕組みを学び、地域の防災体制について理解することにより、「防災対応能力」の充実を図る。
- (3) 地域が育んできた人権尊重の精神にねざして、「自他の生命の尊さ」や「共助」の重要性への自覚を促すことで、地域の安全・安心に貢献できる防災リーダーの育成をめざす。
- (4) 「地域の絆は、防災の力」をキャッチフレーズに、地域の伝統行事やイベント等に積極的に参画し、地域を元気づけて地域の絆を深めるとともに、郷土に誇りを持ち、将来にわたって地域を担う資質や態度を養う。

3. 各学年のテーマと目標

1年「防災活動全般について考えよう」

災害のうち、地震・津波の正しい知識を身につけ、搬送訓練や避難グッズ作成を通して、災害時の対処法について学ぶとともに安心・安全な地域づくりに貢献する。

2年「防災と食について考えよう」

地震・津波を含む自然災害から身を守る技能を身につけるとともに、炊き出し訓練や本校に設置してある貯水槽について学び、自他の生命の尊さや共助の精神を高めて、災害から力強く復興するために必要な態度を育てる。

3年「防災リーダーなるためにどんな力が必要か考えよう」

これまで学んだことを活かし、公助機関との連携役を務め、地域住民とともに防災活動の日の避難所開設訓練の体験を通して、地域の絆づくりや安全・安心に貢献できる地域リーダーとしての資質を育てる。

4. 具体的な取組内容

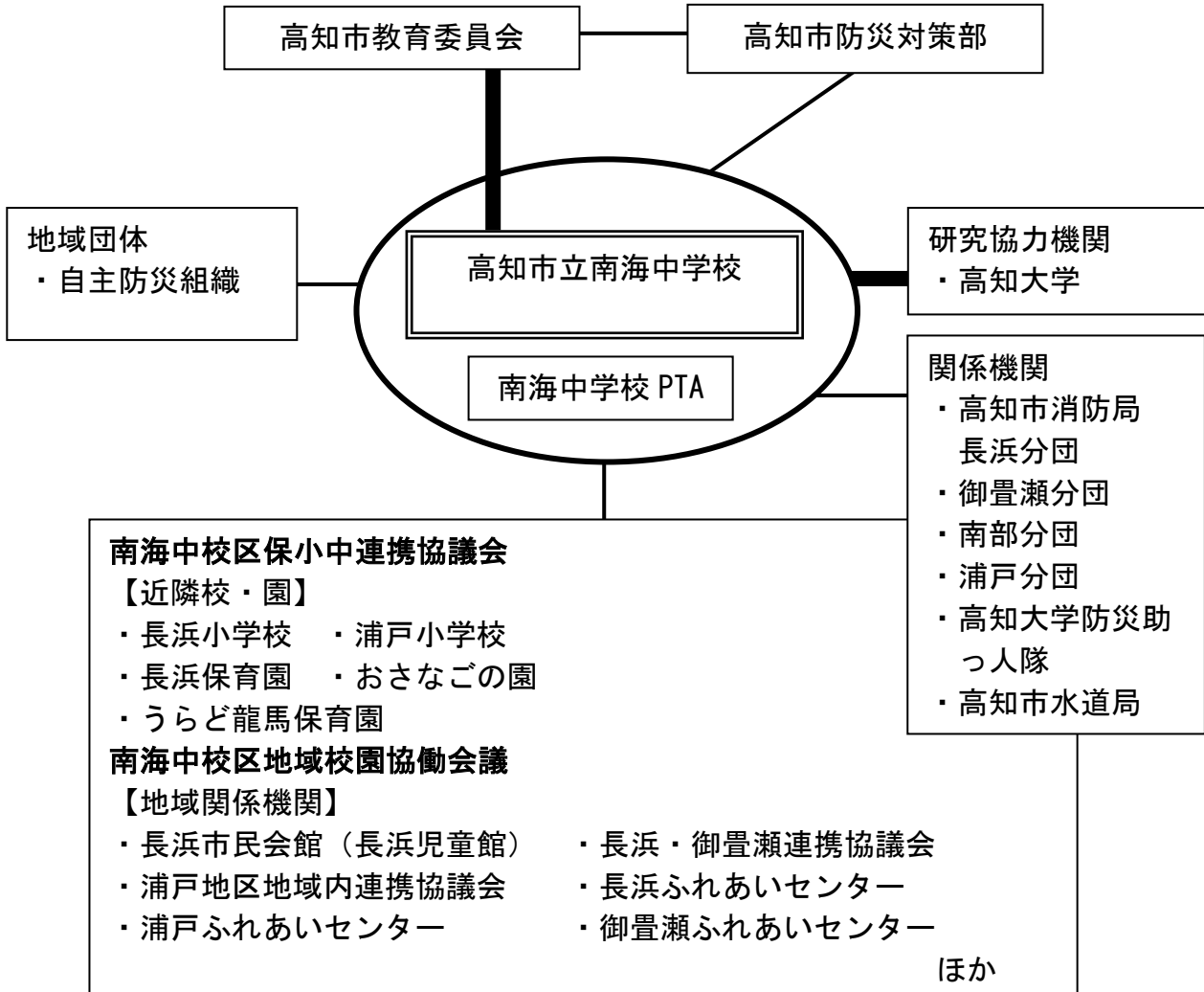
月	1年	2年	3年	保安委員会	NSP実行委員会	教職員・地域等
4月	○津波避難場所・経路の確認 (向山=2次避難のできる場所)…保健体育				○どろんこ祭り(伝統行事)への参加	○防災マニュアルの確認、避難訓練に向けての役割確認(教職員) ○防災フェア関係機関への連絡(教職員)
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>①避難訓練 避難マニュアルを活用した訓練(向山への避難)</p> </div>						
5月				○校内の消火器・消火栓の点検・整備	○長宗我部祭りにおいて、参加者に防災の啓発活動を実施	○長宗我部祭りにおいて、参加者と共に避難経路の確認
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>②避難訓練 避難マニュアルを活用した訓練(中舎4階への避難)</p> </div>						
○地域校園協働会議 防災活動の日打ち合わせ(訓練内容の決定・チラシの地域配布依頼)						
6月	<ul style="list-style-type: none"> ④防災学習 ○NSPの取組から学ぶ ○地震・津波のメカニズム(資料1) 	<ul style="list-style-type: none"> ④防災学習 ○地震に備える「家の中の安全対策」(資料2) ○心配蘇生法(AED)講習 	○防災活動の日(被災者支援活動訓練事前学習)		○防災フェア準備体験活動アンケート(1・2年生)の集計と体験活動の決定	○防災活動の日に向けて、関係機関、地域防災組織等との訓練内容の事前打ち合わせ
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>③ショート訓練(地震の揺れに対する訓練)</p> </div>						
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○「津波避難マップ」自宅からの津波避難場所を確認 ④防災活動の日(校区一斉避難訓練の事前学習) ○防災活動の日(被災者支援活動訓練事前学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「津波避難マップ」自宅からの津波避難場所を確認 ④防災活動の日(校区一斉避難訓練の事前学習) ○防災活動の日(被災者支援活動訓練事前学習) 	<ul style="list-style-type: none"> ○「津波避難マップ」自宅からの津波避難場所を確認 ④防災活動の日(校区一斉避難訓練の事前学習) ○防災活動の日(被災者支援活動訓練事前学習) 		<ul style="list-style-type: none"> ○避難受付名簿等の準備 ○校区内一斉避難訓練に向けての準備 ○中学生の避難場所調査結果の取りまとめ 	○本校生徒の津波避難場所の把握(教職員)

月	1 年	2 年	3 年	保安委員会	NSP実行委員会	教職員・地域等
8 月	<p style="text-align: center;">津波避難場所リーダー会 校区一斉津波避難訓練の各避難場所の中学生リーダーとNSPとの事前打ち合わせ (地域自主防災との打ち合わせ事項の伝達, 当日のリーダーの動き等)</p>					<p>○教職員研修 「地域との協働的な 防災教育の推進に向 けて」</p>
	<p>○ 自主防災組織が協力して, 地域の津波避難場所の整備 (草刈等)</p>			<p>校区内一斉津波避難訓練事前打ち合わせ会 (NSPと自主防災組織担当者)</p>		
9 月	<p>南海中学校 防災活動の日 AM校区一斉避難訓練 PM被災者支援活動訓練</p>					
	<p>④校区一斉津波避難訓練：自宅から地域の津波避難場所へ ・地域の自主防災組織との連携による, 在宅時の避難訓練</p>					
	<p>④被災者支援訓練：防災リーダーの育成 ・被災者支援活動 (防災グッズ作成・炊き出し・避難所開設) の各訓練を通して防災リーダーとして 活躍する生徒の育成</p>					
					<p>○避難者名簿作成 一斉避難訓練参加者 の名簿の作成と集計 結果の地域への発信</p>	
10 月	○防災活動の日 振 り返り	○防災活動の日 振 り返り	○防災活動の日 振 り返り	○校内の危険箇所点 検と整備 教室の本棚等への転 倒防止金具の設置	○南フェス(地域イベ ント)に参加して, 防 災啓発活動	<p>○地域校園協働会議 防災反省 (次年度に向けて) 地域と協働的な防災活動について</p>
11 月						
12 月						
1 月	<p>⑤避難訓練 様々な状況 (火災, 建物倒壊等) を想定した津波避難訓練 (校庭まで避難)</p>					
2 月				<p>○校内の避難路等にお ける 掲示物の点 検・整備 ○防災ポスター (構 内掲示用の作成)</p>	<p>○全校防災アンケー トの実施 (事後調査) と集計</p>	<p>○地域校園協働会議 南海中学校校区防災活動の日反省会 地域自主防災組織との避難訓練の振り返り及 び来年度の一斉避難訓練に向けて 地域と協働的な防災活動について 本年度の反省と来年に向けて</p>
3 月						

※避難訓練①～⑤、防災授業資料1～4、防災活動の日

これらの要項は 教諭フォルダ → 1-1. 研究推進統括本部・三部会 → 地域協働部会 の中にあります。

5. 防災教育推進の実施体制



6. 今年度取組みの重点課題

- ・ 教材の開発・研究にあたって、様々な関係機関と連携
- ・ 防災マニュアルに基づく教員の動きを確認する研修職員会の実施
- ・ 教員と生徒の動きを確認する避難訓練の実施
- ・ 地域と連携した「南海中学校区防災活動の日」の充実（参加者を1,000名に）
- ・ 地域共催行事防災活動の日の活性化（参加者の大幅増加）
- ・ 家庭と連携した、防災にかかわる実践的取組み
（例）非常持ち出し袋の作成・準備・防災活動の日への参加など